

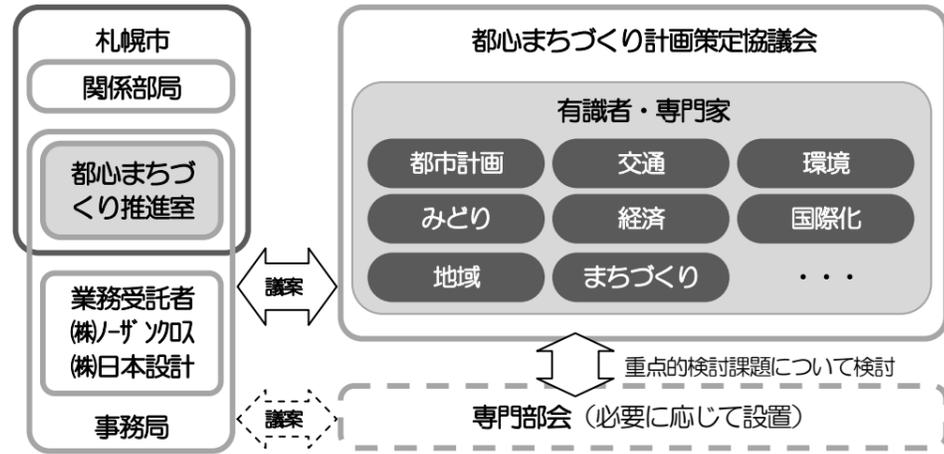
都心まちづくり計画策定協議会

会議資料

平成26年10月6日

1 都心まちづくり計画策定協議会 運営スキーム

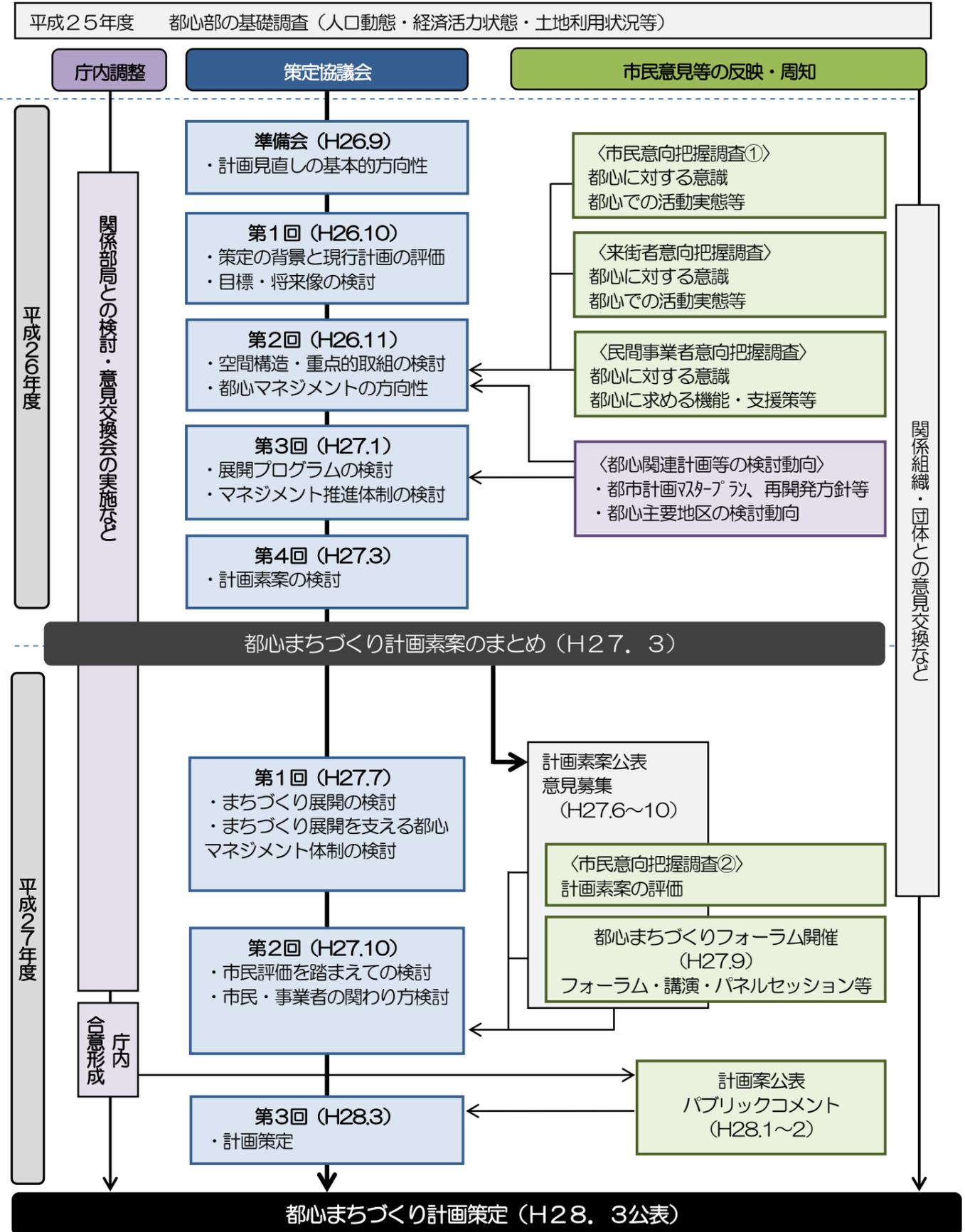
(1) 都心まちづくり計画策定協議会の位置づけ



(2) 都心まちづくり計画策定協議会の構成

	専門	氏名	所属
策定協議会委員	学識	都市計画	小林 英嗣 北海道大学名誉教授、(一社)都市・地域共創研究所
		都市デザイン	蓮見 孝 札幌市立大学 理事長・学長
		環境・エネルギー	村木 美貴 千葉大学大学院 工学研究科建築都市科学専攻 教授
		都市マネジメント	保井 美樹 法政大学 現代福祉学部 教授
		交通	高野 伸栄 北海道大学大学院 工学研究院 准教授、都計審委員
		観光	中鉢 令兒 北海商科大学 商学部 教授
		交通	中村 文彦 横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 教授(※アドバイザー委員)
民間	金融機関	関根 久修 日本政策投資銀行 北海道支店長	
	商業・経済	池内 和正 札幌商工会議所 政策委員会・副委員長	
	民間都市開発	清水 弘之 三井不動産株式会社 北海道支店長	
		大鐘 稔陽 三菱地所株式会社 札幌支店長	
	エリアマネジメント	越山 元 札幌駅前通まちづくり株式会社 代表取締役社長	
オブザーバー	札幌市	石川 敏也 市長政策室 政策企画部長	
		佐藤 博 市長政策室 エネルギー政策統括担当部長	
		三澤 幹夫 市民まちづくり局 都市計画部長	
		佐藤 達也 市民まちづくり局 総合交通計画部長	
		城戸 寛 環境局 環境都市推進部長	
		小野 聡 経済局 産業振興部長	
		高野 馨 観光文化局 観光コンベンション部長	
		齋藤 英幸 都市局 事業推進担当部長	
事務局	高森 義憲 市民まちづくり局 都心まちづくり推進室長		

(3) 策定協議会運営スキーム



2 都心まちづくり計画策定の方向性(目標・まちづくりの重点テーマ)

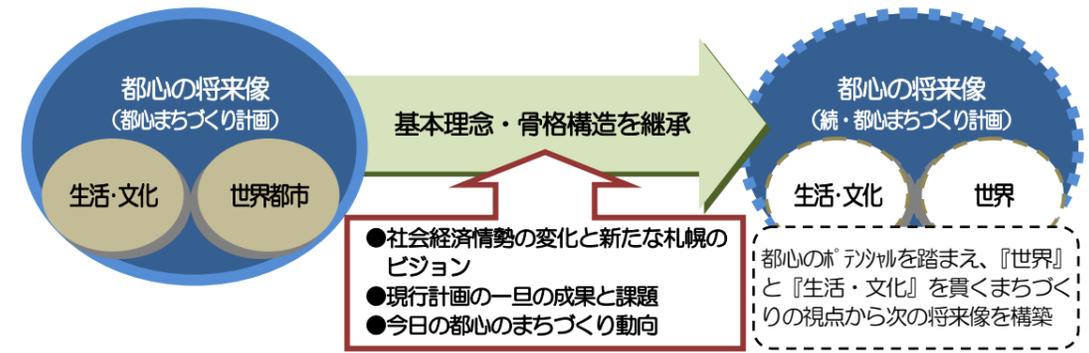
(1) 都心まちづくり計画の見直し・新たな計画策定に係る背景

都心を取り巻く動向・環境変化		重要な視点
1	札幌市を取り巻く社会経済情勢の変化への対応 ○少子高齢化や人口減少社会の到来 ○札幌・北海道経済の低迷 ○グローバル化の進展、アジア諸国の急速な成長 ○3.11を契機としたエネルギー政策の見直しの必要性	●ライフスタイル ●経済的活性化 ●国際競争力 ●低炭素社会
2	社会経済情勢に対応した総合計画の見直し ○札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定(H25) ○北海道・札幌市の資源を活かした世界に誇る都市づくり、つながりを重視した共生社会の形成 ○「暮らし」「経済」「低炭素」をキーワードとした創造戦略 ○都市空間形成のコンセプト『SLIM City SAPPORO』 ○『活力があふれ世界を引きつける都心』の推進(機能集積の促進、回遊ネットワークの強化、先進的E-ICM+施策展開、重層的E-ICM+等)	●都心版創造戦略 ●都心版SLIM-City
3	都心まちづくり計画の折り返し地点 ○駅前通・創成川通の二つの都市軸への公共投資 ○札幌駅・大通・創世の3つの交流拠点の取組展開 ○骨格構造に連動する都市再生事業等官民連携プロジェクトの展開	●現状の都心の機運・ポテンシャルを踏まえた都心の構造強化
4	新たなまちづくり動向 ○都心内外の新たな交通ネットワーク(新幹線、都心アクセス、路面電車ループ化) ○更なる官民連携プロジェクトの展開 ○エリアマネジメントの取組の進展・萌芽(大通・駅前通・創成東)	●新たな動きの計画的意義・戦略的位置づけ ●包括的マネジメント

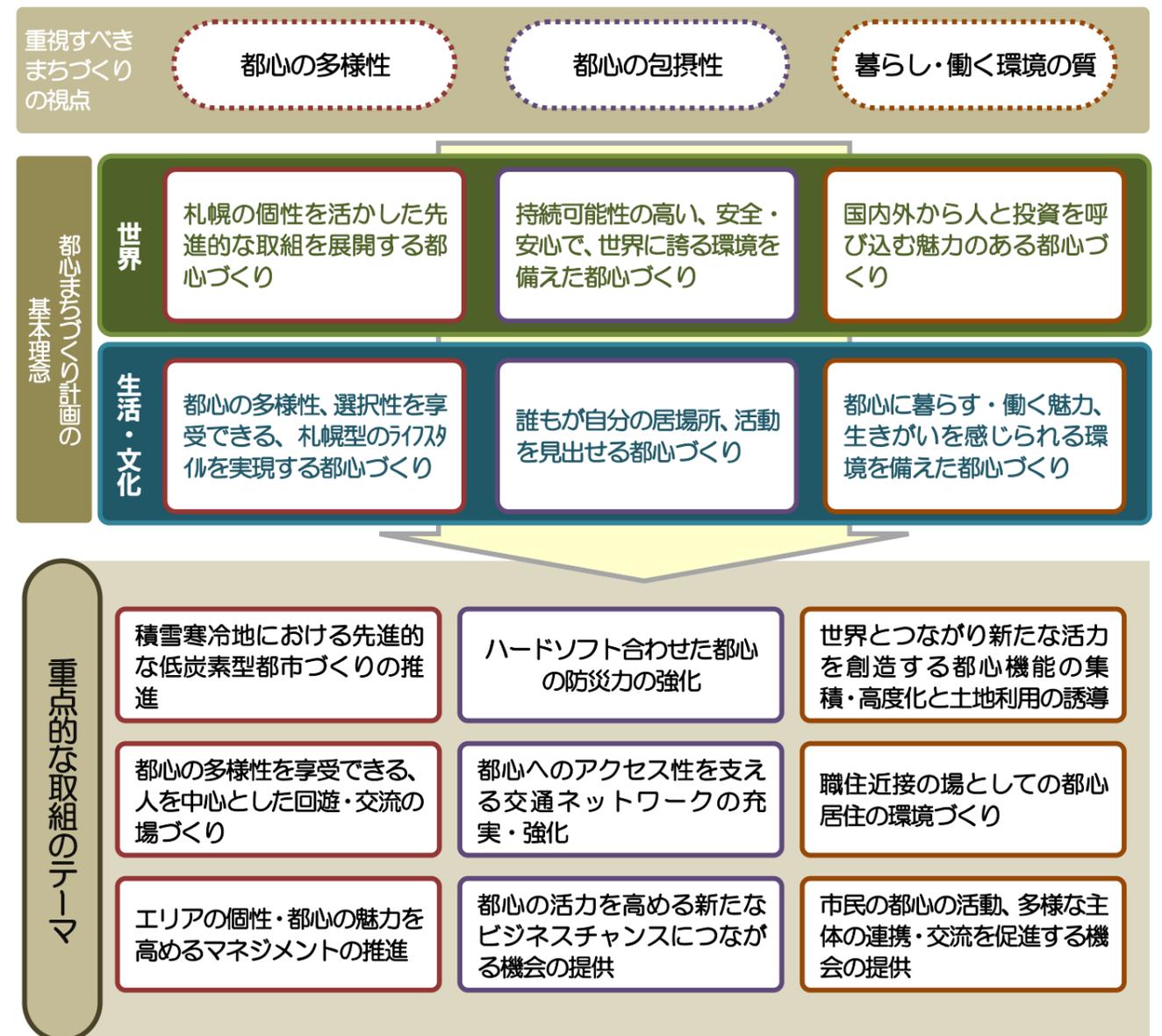
(2) 計画目標の視点

①都心を取り巻く背景、上位計画等を踏まえた都心まちづくりの目標の考え方

○現行都心まちづくり計画に定めた、『これからの時代の生活・文化をつくる～成熟社会に対応した都市生活の魅力为谁もが十分に味わえる都心』『“世界都市さっぽろ”をつくる～国の枠組を越えネットワーク社会に対応した“世界都市さっぽろ”の魅力を発揮し続ける都心』の二つの目標の理念、さらに今日までの都心まちづくりを支えた『都心の骨格構造』の考え方を継承しつつ、札幌・都心を取り巻く社会環境の変化、今日までの取組の成果と課題等を踏まえた重点的な取組を定める。

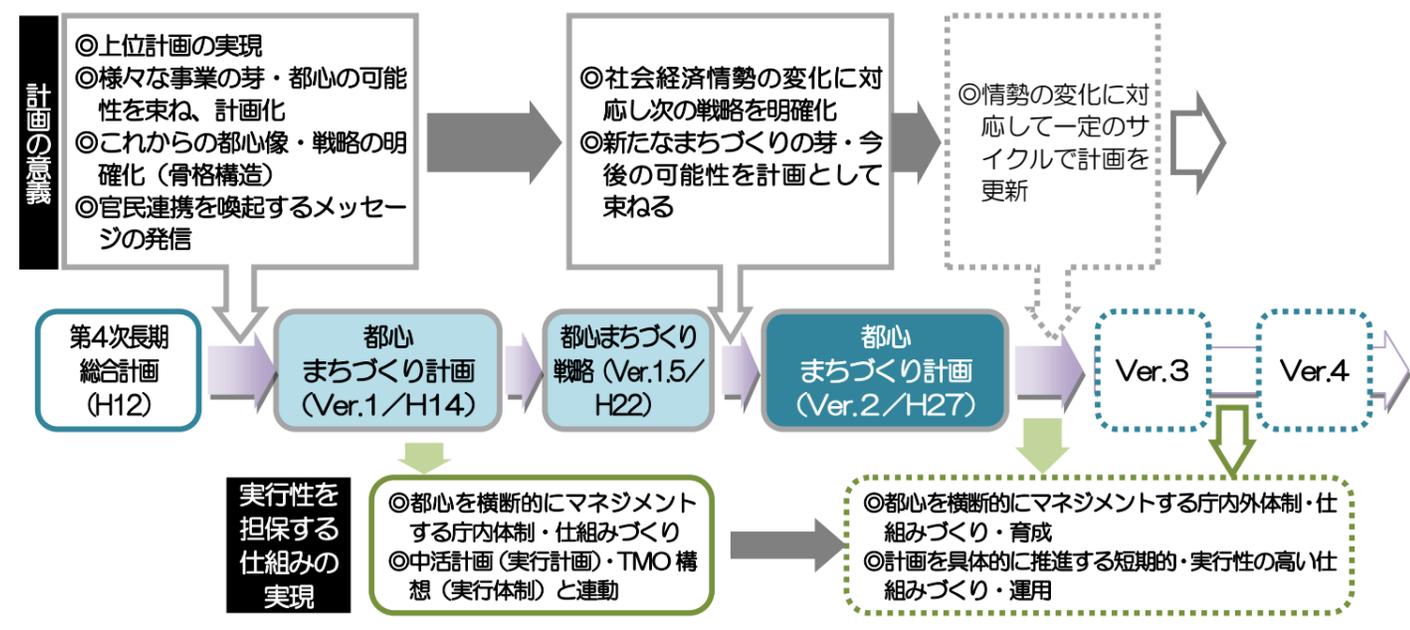


②都心まちづくりの将来像と、将来像実現のための重点的な取組のテーマ

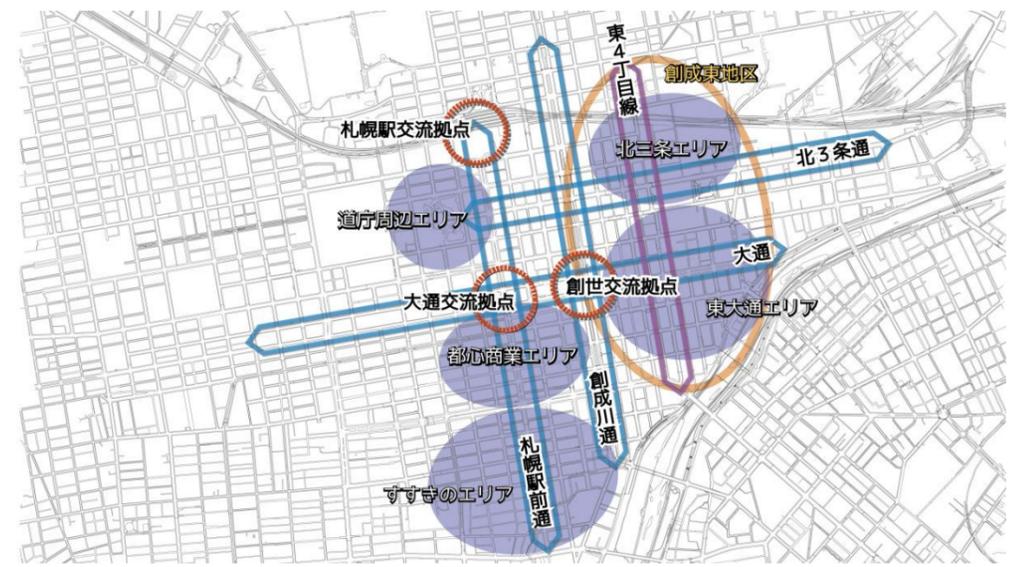


3 将来像実現のための基本戦略の展開を支える都心の空間形成

(1) 都心まちづくり計画の評価・検証(意義・役割)



(2) 都心まちづくり計画・都心まちづくり戦略に定めた取組の評価・検証



骨格軸	取組の成果	課題
駅前通	【歩行者空間ネットワークの形成】 ・札幌駅前通地下歩行空間の整備・エレガ-ネットワーク基幹整備 ・地上部歩行者空間の拡充 ・沿道建物の更新等に伴う地下ネットワークへの接続 【軸形成の誘導】 ・景観計画重点；札幌駅前通北街区地区 ・札幌駅前通北街区地区計画	◆大通以北・以南をつなぐ『駅前通』としての骨太なコンセプト・空間像の明確化
創成川通	【新しい環境を生みだす都市基盤施設整備】 ・連続アンダーパス化+創成川公園の整備 【公共空間等の多面的活用の促進】 ・狸二条広場運営協議会設立と利用ガイドライン作成、イベントの展開	◆都心アクセス等、交通の基軸としてのあり方、沿道との連携の方向性

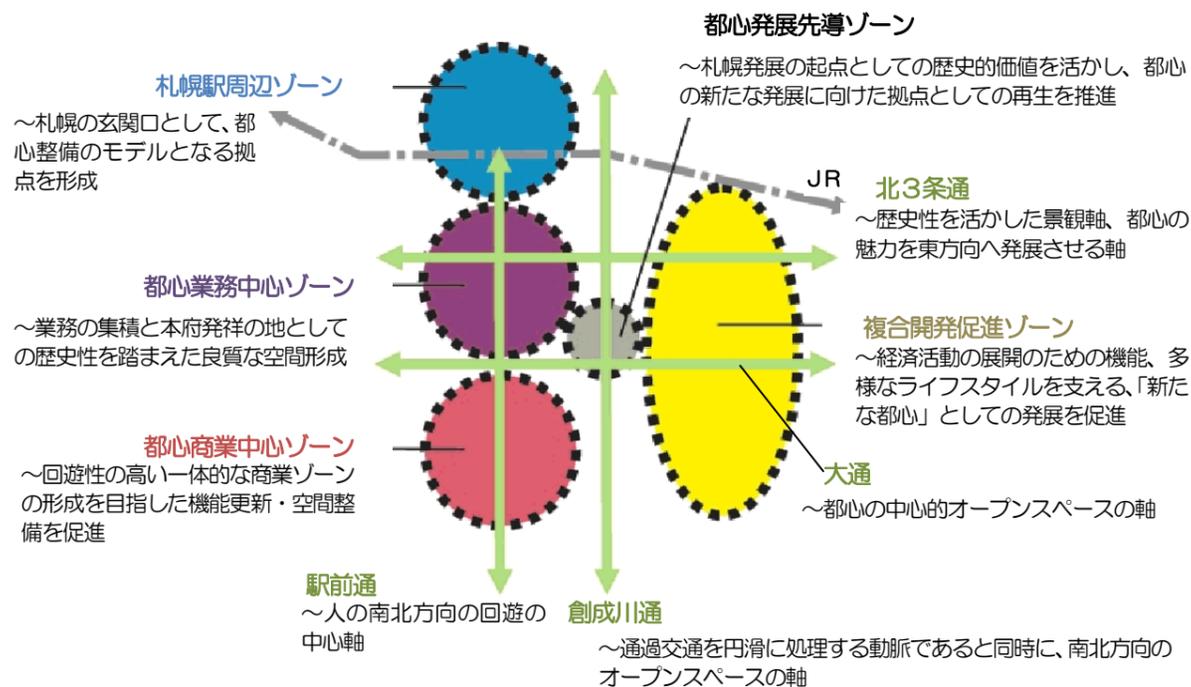
展開軸	取組の成果	課題
大通	【軸形成の誘導】 ・景観形成重点地区；大通地区 【公共空間の多面的活用】 ・大通公園のイベント実施と活用之际しての弾力的規制緩和	◆大通沿道の街並み形成 ◆大通の東伸の可能性・意義
北三条通	【歴史的役割を継承した新たな都市開発の推進】 ・北3西4、北2西4地区、並びに都市開発と連動した北3条広場の整備	◆北3条通の都市軸としての空間形成の誘導
東四丁目線	【東四丁目線の強化に向けた取組】 ・創成東地区まちづくりの基軸として東四丁目線を『展開軸』に位置づけ	◆通りの空間像の明確化と形成手法
札幌駅	【広域的文化機能を含む複合的開発の推進と拠点性の向上】 ・札幌駅南口開発に伴う中核的商業拠点の形成 ・南口・北口地区の景観計画重点区域への指定 ・札幌駅交流拠点再整備構想の提言	◆広域的なネットワークを支える交流拠点整備 ◆創成川以東エリアへの展開の方向性
大通	【周辺建物の更新・改修による拠点形成の誘導】 ・北洋大通センタービル、札幌大通西4ビルの整備 ・地下空間との接続、一体的な公共空間整備 【地下空間の拡充】 ・交流拠点整備とまちづくり会社による賑わい創造事業展開	◆南街区の更新に伴う関係者協議の推進 ◆大通公園との連続性
創世	【これからの都心が備えるべき機能の導入】 ・市民交流複合施設の整備を含む北1西1街区再開発の事業化 【新たなモデルとなる都市空間を創出する基盤施設の整備】 ・再開発施設におけるエネルギー供給拠点整備の推進	◆先行事業の推進 ◆後続事業の方向性・可能性の明確化
都心商業エリア	【地区別のまちづくり指針の検討】 ・南1条地区におけるビジョンの検討	◆都心商業地のビジョン・活性化戦略
道庁周辺エリア	【都市再生事業の推進】 ・北2西4地区の都市再生特別地区への指定 ・北2西4地区、北3西4地区における官民連携プロジェクトの展開 ・北3条広場の整備	◆北3条通の都市軸としての空間形成の誘導(再掲)
北3条エリア 東大通エリア 創成東地区	【創成東地区に係るまちづくりの基本的考え方】 ・創成東地区を今後の都心まちづくりにおける『重点地区』に指定 ・『創成川以東地区まちづくり構想』を受けた基本的考え方の整理	◆大通の東伸の可能性・意義(再掲)
すすきのエリア	【地区の関係主体による協議と活動の展開】 ・地元協議会による地区像の検討、活性化・防犯活動の推進	◆すすきの地区のビジョンづくり

(2) 都心の基本構造と現状

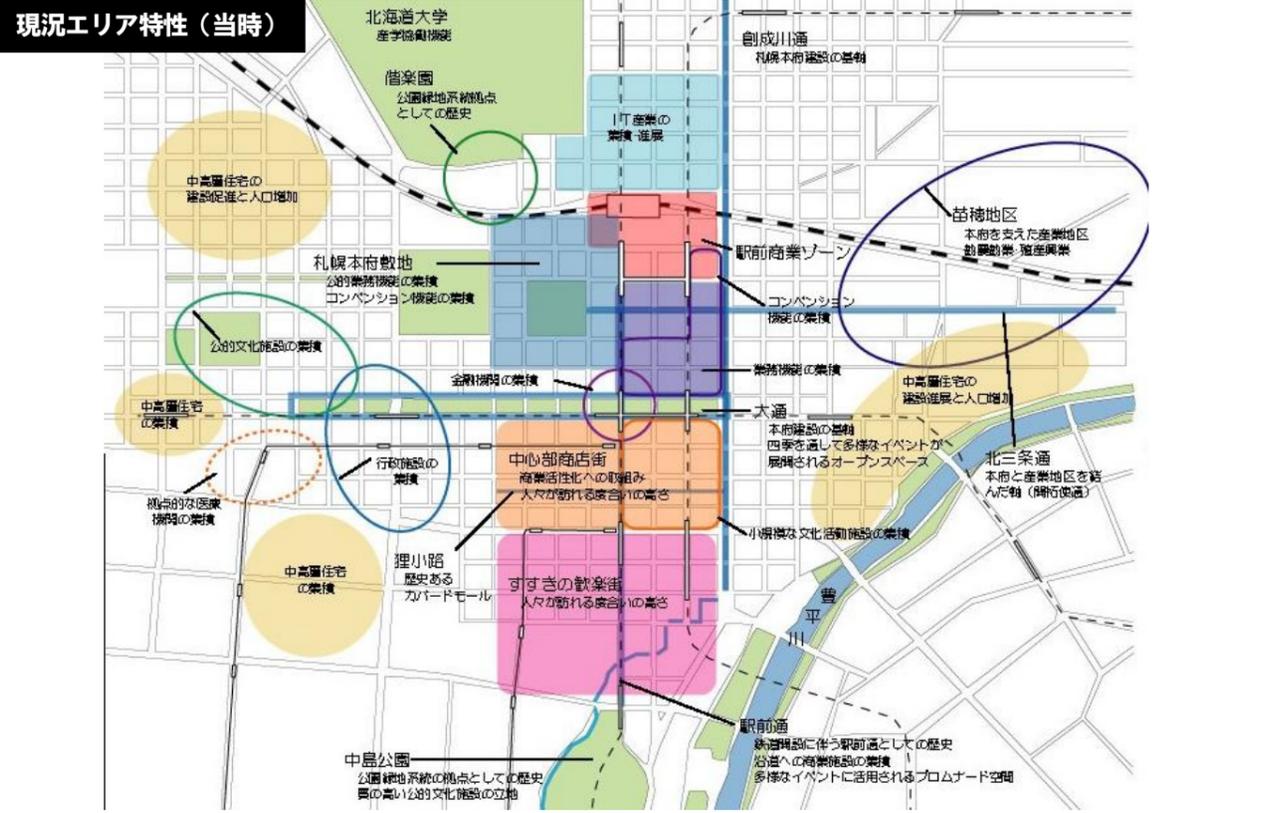
現行都心まちづくり計画を支えた基本構造と現況機能分布 (H12当時)

基本構造

[魅力的で活力ある都心の整備～第4次札幌市長期総合計画より]

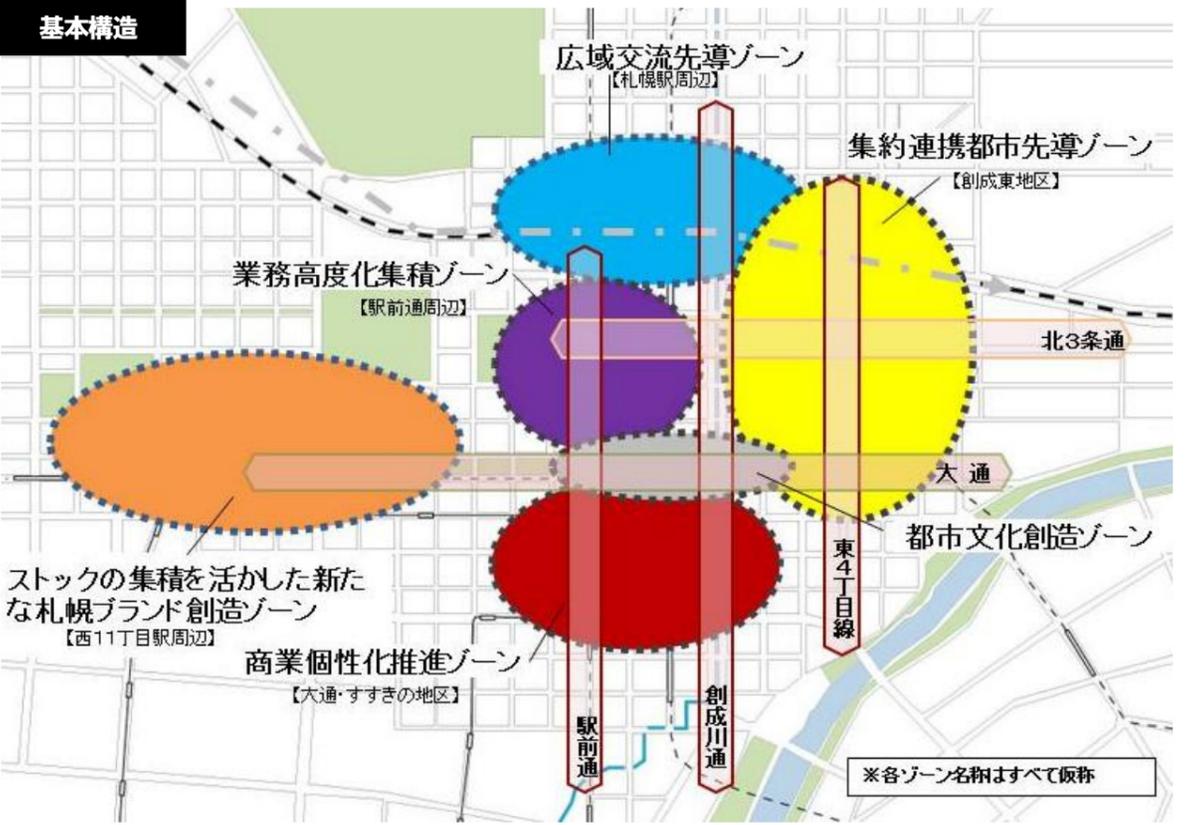


現況エリア特性 (当時)

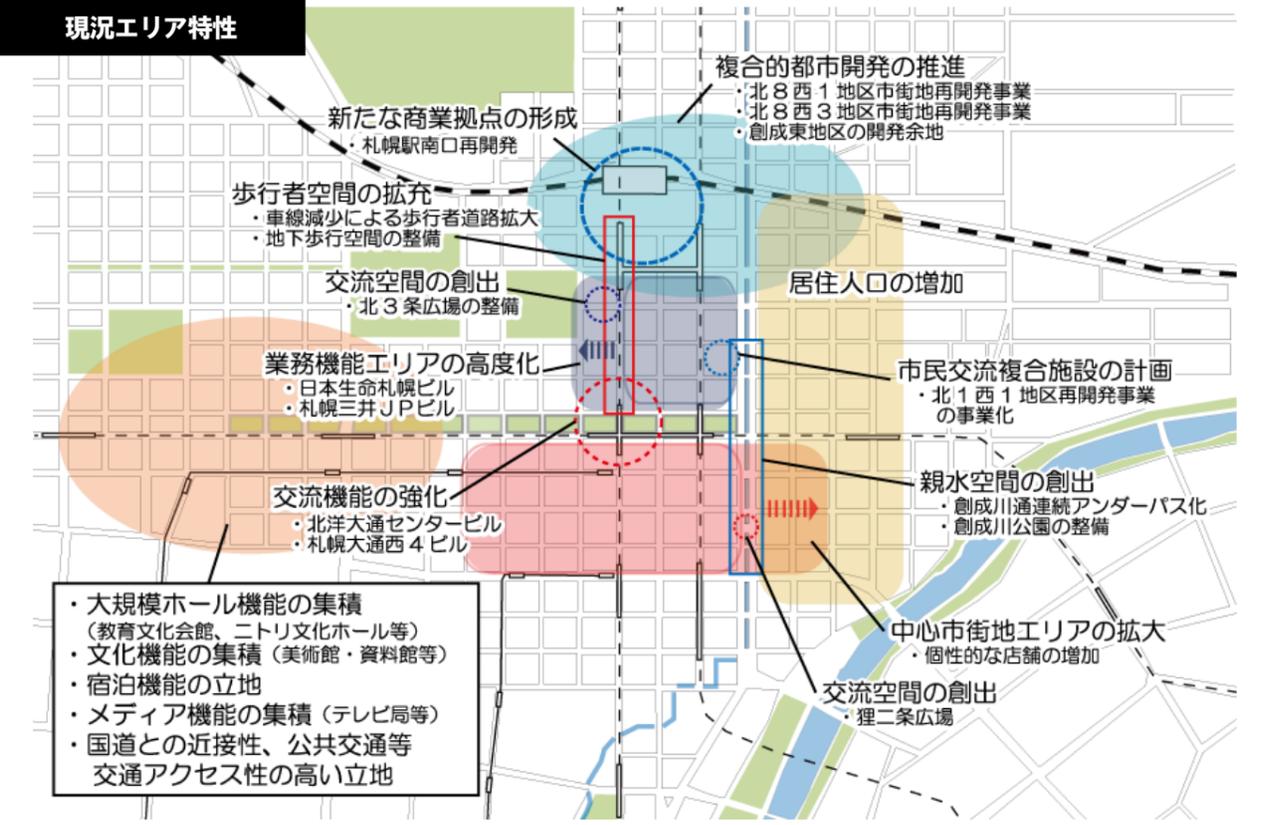


次の都心まちづくりを支える基本構造と現況機能分布 (H26現在)

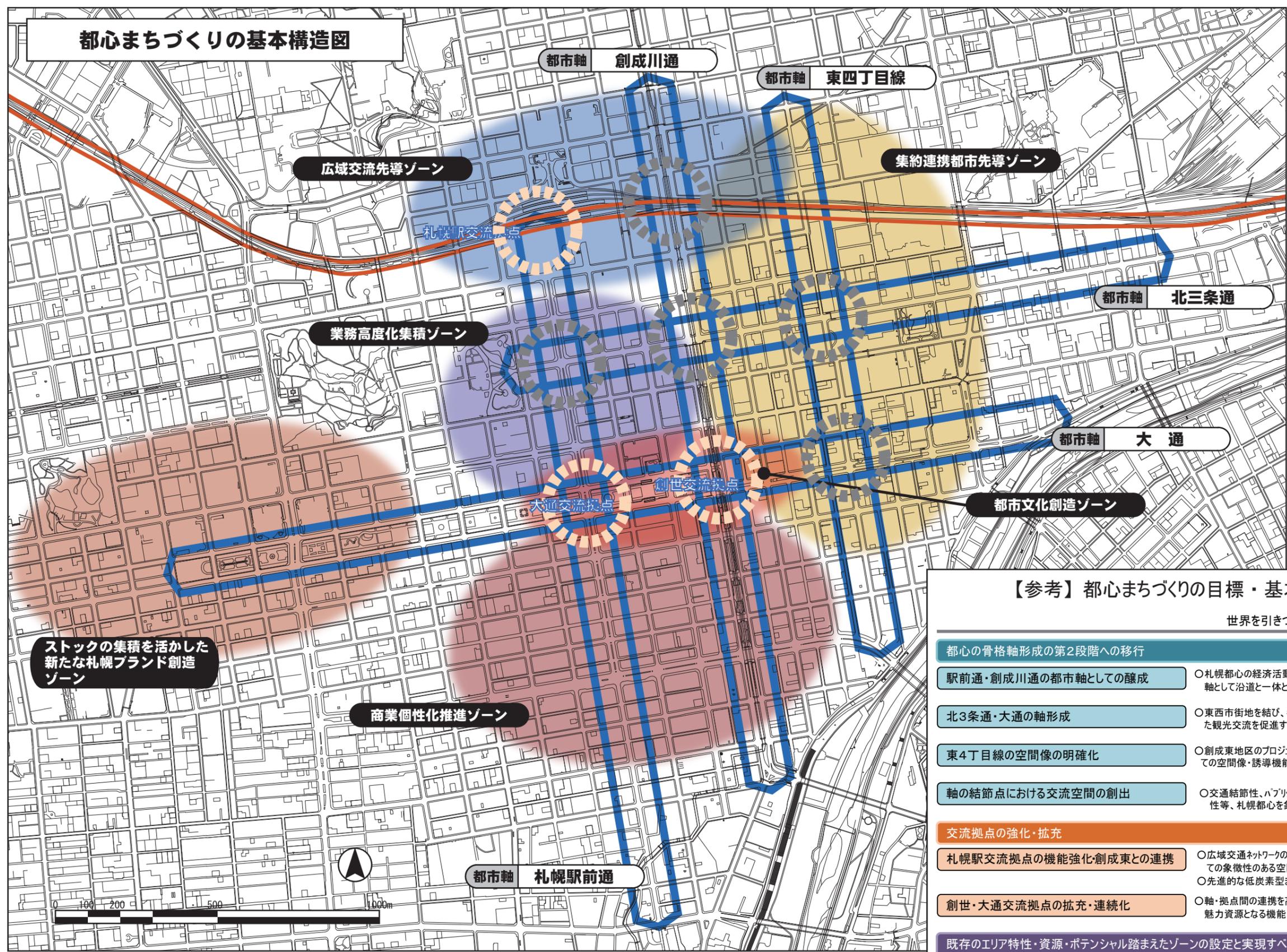
基本構造



現況エリア特性



都心まちづくりの基本構造図



【参考】都心まちづくりの目標・基本構造を踏まえた次の展開のイメージ

	世界を引きつける都心づくり	市民の生活・文化の質を高める都心づくり
都心の骨格軸形成の第2段階への移行		
駅前・創成川通の都市軸としての醸成	○札幌都心の経済活動、象徴性を支える都市軸として沿道と一体となった機能強化を促進	○市民の街なかでの憩い活動・回遊を支えるパブリックスペースの創出とネットワークの形成
北3条通・大通の軸形成	○東西市街地を結び、都心の資源を活かした観光交流を促進する回遊ネットワークの形成	○商業・業務集積地区との結びつきを高め、都心居住の質・都心域の回遊性を高める東西軸の強化
東4丁目線の空間像の明確化	○創成東地区のプロジェクト連鎖を支える軸としての空間像・誘導機能等を設定	○暮らしの中心軸となる人を中心とした空間形成 ○沿道機能へのインキュベーションの促進による、新たなものづくり文化の匂いがする街並みづくり
軸の結節点における交流空間の創出	○交通結節性、パブリックスペースによる滞留性、環境性、沿道建物の更新・機能強化に伴う象徴性等、札幌都心を象徴する交流空間の創出	
交流拠点の強化・拡充		
札幌駅交流拠点の機能強化・創成東との連携	○広域交通ネットワークのハブ、札幌の玄関口としての象徴性のある空間・機能の発揮 ○先進的な低炭素型まちづくりのショーケースの実現	○創成東との結節性・利便性の高い移動環境を備えた回遊ネットワークの実現
創世・大通交流拠点の拡充・連続化	○軸・拠点間の連携を高め、観光の新たな魅力資源となる機能・空間を創造	○市民活動・都心での憩いの中心的存在となる連鎖的パブリックスペースの展開
既存のエリア特性・資源・ポテンシャル踏まえたゾーンの設定と実現すべき機能・役割の明確化		
既存のエリアの位置づけ強化	○本州企業誘致、ビジネス支援機能の充実等による業務高度化、魅力的な店舗誘致、ホスピタリティ向上等 既存のエリア特性を生かした機能強化 ○各エリアの特性・役割・位置づけを具現化・強化する土地利用の誘導方針の明確化 ○各エリアの機能、特性に応じた低炭素型市街地形成の推進	○現在のニーズ、土地利用転換動向等を踏まえた集約型連携市街地のモデル形成
都心の東西エリアの性格付け	○西11丁目周辺の既存資源(コンベンション)と交通利便性を活かした機能強化 ○創成東における以西を支える新たなモノ・コトづくりを許容・促進する環境整備	○教育・文化活動の周辺へのにじみ出し、市民のアクセシビリティの向上、多主体連携の誘発 ○暮らしの場としての魅力を高める機能誘導を誘発するエリアの将来像の明確化